

## 2 水稲の作柄概況

### (1) 最近の高温年の水稲の作柄とその概要（要因）

#### <平成12年産>

537kgである。これは、もみ数は、北海道、東北及び北陸でやや少ないものの、その他の地域では平年並みないしやや多く、登熟は、関東の作期の遅い地域で9月上旬の高温及びその後の秋雨前線の影響等により抑制されたものの、全国的には7月以降おおむね天候に恵まれ順調に推移したためである。

#### <平成11年産>

515kgである。これは、九州で6月下旬以降の断続的な多雨・日照不足に加え、9月下旬の台風第18号による倒伏等により作柄が「著しい不良」となったものの、近畿より東の地域ではおおむね天候に恵まれ作柄が「やや良」となったためである。

#### <平成6年産>

平成6年産水稲の作柄は、作況指数109の「良」で、10a当たり収量は544kgである。これは、田植期以降全国的に高温・多照の天候に恵まれたことに加え、台風や病害虫による被害も少なく、生育・登熟ともに良好であったためである。

○最近の高温年の作柄 (県別)

県名	作況指數			10a当たり収量(kg)		
	H 1 2	H 1 1	H 6	H 1 2	H 1 1	H 6
全 国	1 0 4	1 0 1	1 0 9	5 3 7	5 1 5	5 4 4
北 海 道	1 0 3	1 0 3	1 0 8	5 4 0	5 3 4	5 4 1
青 森	1 0 4	1 0 2	1 0 7	5 9 9	5 9 1	6 1 8
岩 手	1 0 6	1 0 5	1 1 0	5 5 5	5 4 6	5 6 4
宮 城	1 0 5	1 0 2	1 0 6	5 4 4	5 2 2	5 3 7
秋 田	1 0 1	1 0 2	1 0 3	5 7 5	5 8 0	5 9 2
山 形	1 0 5	1 0 3	1 0 5	6 1 6	6 0 2	6 1 5
福 島	1 0 4	1 0 6	1 1 1	5 4 4	5 4 8	5 7 0
茨 城	1 0 7	1 0 4	1 0 9	5 3 2	5 0 8	5 1 1
栃 木	1 0 6	1 0 2	1 1 2	5 4 8	5 1 7	5 2 2
群 馬	9 6	1 0 2	1 1 3	4 7 2	4 9 3	5 1 2
埼 玉	1 0 1	1 0 0	1 1 1	4 9 4	4 8 1	4 9 5
千 葉	1 0 7	1 0 4	1 0 8	5 5 0	5 2 6	5 2 5
東 京	1 0 5	1 0 5	1 0 6	4 0 8	3 9 8	3 7 8
神 奈 川	1 0 1	1 0 3	1 1 0	4 7 4	4 7 1	4 7 2
新潟	1 0 3	1 0 2	1 0 3	5 4 6	5 4 1	5 4 7
富山	1 0 3	1 0 1	1 0 6	5 4 0	5 2 4	5 4 1
石川	1 0 1	1 0 2	1 0 3	5 1 1	5 1 7	5 1 2
福井	1 0 1	1 0 0	1 0 3	5 1 6	5 1 2	5 1 9
山梨	1 0 4	1 0 4	1 1 3	5 4 4	5 3 6	5 5 7
長野	1 0 4	1 0 5	1 1 5	6 2 8	6 2 4	6 5 9
岐阜	1 0 3	1 0 1	1 1 2	4 9 2	4 7 1	4 9 7
静岡	1 0 3	1 0 5	1 1 3	5 2 9	5 3 1	5 3 0
愛知	1 0 3	1 0 3	1 0 7	5 0 4	4 9 7	4 9 8
三重	1 0 5	1 0 3	1 0 7	5 0 7	4 9 0	4 9 1
滋賀	1 0 3	1 0 1	1 0 6	5 2 4	5 0 8	5 2 5
京都	1 0 4	1 0 4	1 1 1	5 1 9	5 0 6	5 2 4
大阪	1 0 4	1 0 4	1 1 0	4 8 7	4 7 6	4 7 4
兵庫	1 0 4	1 0 3	1 1 3	5 0 8	4 8 9	5 0 8
奈良	1 0 3	1 0 4	1 1 0	5 1 2	5 0 1	5 0 3
和歌山	1 0 3	1 0 3	1 1 1	4 9 4	4 8 7	4 9 7
鳥取	1 0 5	1 0 0	1 1 6	5 3 6	5 0 5	5 6 9
島根	1 0 4	1 0 1	1 1 2	5 1 5	4 9 3	5 3 5
岡山	1 0 4	1 0 0	1 1 2	5 3 2	5 0 2	5 3 2
広島	1 0 4	9 9	1 0 7	5 3 1	5 0 3	5 1 8
山口	1 0 4	9 5	1 1 4	5 2 1	4 6 9	5 4 0
徳島	1 0 2	1 0 0	1 1 3	4 7 6	4 6 4	5 0 4
香川	1 0 3	9 9	1 1 0	5 1 0	4 8 3	5 1 9
愛媛	1 0 3	9 6	1 1 3	5 0 6	4 6 5	5 3 1
高知	1 0 4	9 7	1 1 1	4 6 7	4 3 2	4 5 6
福岡	1 0 4	8 8	1 1 1	5 1 5	4 3 1	5 4 5
佐賀	1 0 2	8 6	1 1 0	5 3 6	4 4 4	5 6 8
長崎	1 0 4	8 8	1 0 7	4 8 0	4 0 2	4 6 8
熊本	1 0 2	8 1	1 1 5	5 1 7	4 0 7	5 7 0
大分	1 0 5	8 0	1 2 4	5 1 6	3 8 7	5 9 0
宮崎	1 0 4	9 0	1 1 5	4 9 5	4 2 6	5 1 6
鹿児島	1 0 2	8 6	1 1 5	4 8 1	4 0 2	5 1 7
沖縄	9 6	9 7	9 4	3 1 1	3 2 3	3 1 2

## ○作柄の概要(要因:地域別)

### 【平成12年産】

地 域	概要(気象要因、災害等を中心にコメント)
北海道、東北	6月中旬以降おおむね天候に恵まれ生育が促進。7月の高温等の影響によりもみ数が平年並みないしやや少なくなった。7月中旬以降高温に経過したため冷害の発生もなく登熟良好。
北陸	中干しの効果等により穂数が平年並みないしやや少なく、もみ数が7月の高温の影響等により平年並みないしやや少なくなった。一部地域で7月下旬のフェーン風や山間地域で干ばつがあつたものの、おおむね天候に恵まれ登熟良好。
関東・東山	田植期以降おおむね天候に恵まれ生育が順調に推移。群馬県及び埼玉県では作期の遅い地域で9月上旬の高温及びその後の秋雨前線の影響等により登熟不良。その他の都県では7月以降おおむね高温に経過し登熟良好。
東海、近畿、中国、四国、九州	田植期以降おおむね天候に恵まれ生育が順調で、穂数、もみ数とも平年並みないしやや多くなった。登熟期間がおおむね高温に経過したことにより加え、台風による被害も少なかったことから登熟良好。

### 【平成11年産】

地 域	概要(気象要因、災害等を中心にコメント)
北海道、東北	生育が順調で穂数が多かったことに加え、7月中旬以降の異常な高温により窒素が不足気味となったこと等からもみ数が少なくなったものの登熟は良好。
北陸	7月下旬から8月上旬にかけてのフェーン現象等の影響を受けた福井県を除き登熟がおおむね順調。
関東・東山	もみ数が千葉県を除き平年並みないしやや少ないものの登熟は良好。
東海、近畿	もみ数が天候に恵まれやや多いないし多く、一部の県で高温等により登熟が抑制されたものの、全般的に登熟が順調。
中国、四国	出穂後の不順な天候や台風第18号による倒伏等により一部の県で登熟が抑制された。
九州	6月下旬以降断続的な多雨・日照不足によりもみ数が平年並みないしやや少なくなった。台風第18号により広範囲に倒伏が発生し登熟が阻害される被害等が発生し作柄が著しい不良となった。

### 【平成6年産】

地 域	概要(気象要因、災害等を中心にコメント)
北海道	分けつの切り上がりが早まり穂数が少なくなり、もみ数がやや少なくなった。登熟期間が高温・多照に経過したため登熟が極めて良好。
東北、関東・東山	一部地域で9月中下旬の台風第26号の影響で倒伏、穂発芽が発生したが、全般的には天候に恵まれ登熟が良好。
北陸	天水田等水利条件の悪いところでは干害が発生。出穂期以降の好天により登熟良好。
東海、近畿、中国、四国、九州	一部の水利条件の悪い地域で干害が発生し阻害されたが、全般的には出穂期以降の天候に恵まれたことに加え台風や病害の発生も少なく登熟が極めて良好。